

貸借対照表

平成 28 年 3 月 31 日

株式会社JALスカイ仙台

単位： 円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	(128,519,664)	【流動負債】	(4,918,258)
現金・預金	730,959	営業未払金	675,001
営業未収入金	19,870,193	未払法人税個別帰属額	281,873
短期前払費用	167,768	未払費用	738,039
未収還付法人税等	741,000	未払消費税	2,343,100
短期貸付金	106,206,460	その他流動負債	686,541
その他流動資産	803,284	繰延税金負債(流動)	193,704
【固定資産】	(8,931,491)	【固定負債】	(34,966,896)
(有形固定資産)	(2)	退職給付引当金	34,966,896
工具器具備品	232,000	負債の部合計	39,885,154
工具器具備品減価償却累計額	△ 231,998	純 資 産 の 部	
(無形固定資産)	(185,366)	株主資本	97,566,001
電話加入権	185,366	【資本金】	(10,000,000)
(投資その他の資産)	(8,746,123)	【資本剰余金】	(20,000,000)
長期貸付金	1,899,992	資本準備金	20,000,000
敷金	180,000	【利益剰余金】	(67,566,001)
長期前払費用	4,361,001	利益準備金	2,390,915
繰延税金資産	2,305,130	(その他利益剰余金)	(65,175,086)
		別途積立金	20,000,000
		繰越利益剰余金	45,175,086
		純資産の部合計	97,566,001
資産の部合計	137,451,155	負債・純資産の部合計	137,451,155

個別注記表

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
株式会社JALスカイ仙台

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については定額法)を採用しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっております。

2. 引当金の計上基準

(1) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

3. 収益及び費用の計上基準

(1) 収益の計上基準

役務提供基準により計上しております。

(2) 費用計上基準

発生主義により認識し計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(2) 資産除去債務に関する会計基準の適用

当社は、賃貸借契約に基づき使用する事務所等について、退去時における原状回復に係る債務は有していないため、当該債務に見合う資産除去債務は計上しておりません。